

英国Cross Media Limitedのご紹介

2025年3月
Cross Media Limited
TOPPAN株式会社

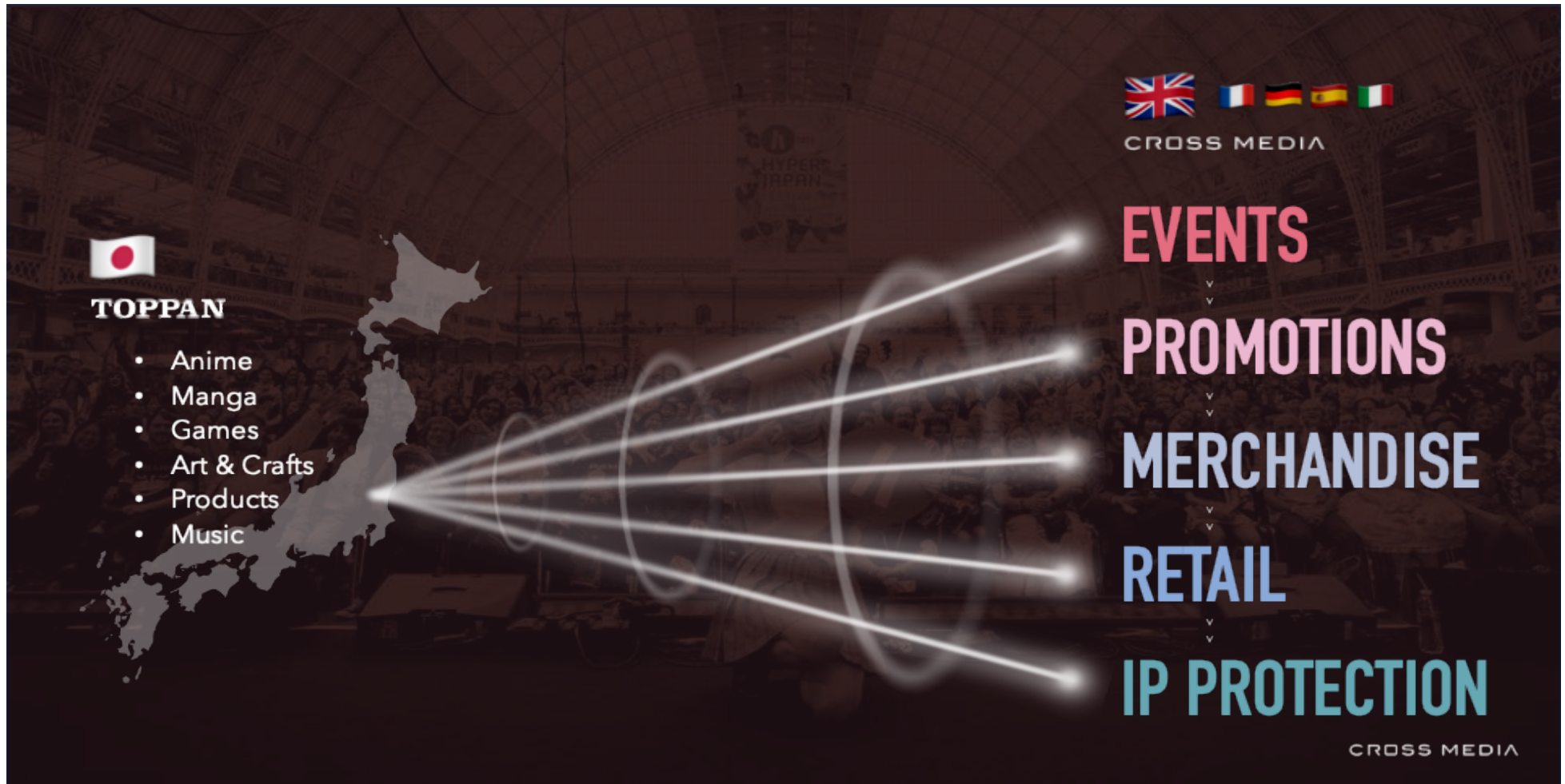
-Our Mission-

日本の本物をグローバルに

TOPPANは2024年3月に英国・ロンドンで日本文化発信イベント「HYPER JAPAN」を主催するクロスメディア社を子会社化し、年々人気が高まる日本コンテンツの発信強化と正規グッズ流通の拡大を行う体制を整えています。
英国から欧州へ。グローバル拡大戦略をご支援いたします。

日本-欧州のコンテンツ・パイプライン

日英の拠点が有するネットワークを活用し、日本の旬なコンテンツや商品を英国及び欧州圏に展開するサプライチェーンの構築を推進。



クロスメディア社 会社概要

Cross Mediaは、ヨーロッパにおける経済・文化の中心地ロンドンに拠点を置き、イベントやデジタルプロモーションなどを通じ、日本の文化を英国・欧州に発信している企業です。

1987年の設立後、在英日本人に向けた「RED DIRECTORY」などの生活情報誌や観光ガイドブックを出版。その後、日本食普及事業「EAT-JAPAN」ブランドにおける雑誌・書籍の発行やイベントを通じ、日本人だからこそ伝えられる日本食と食文化の情報を英国・欧州に伝えてきました。

2010年からは主力事業として、日本総合文化イベント「HYPER JAPAN」をロンドンで開催。ヨーロッパ在住者に向け、出展ブースやライブステージを通して食・音楽・ファッション・テクノロジー・観光・伝統文化・ゲーム・漫画・アニメなど、多様な面から日本の「今」を紹介しています。2015年にはヨーロッパ各地から年間13万人が来場し、日本文化に特化したイベントとしてはイギリス最大の規模に成長しました。

このイベントの企画運営を通じて培ったノウハウ、クールジャパンコンテンツへの造詣、イギリスの現地コミュニティや英系メディアとの強固なリレーションを活かし、日本企業・公官庁・地方自治体等のイギリスにおける活動もサポート。イベントの企画運営、マーケティング、広報・広告宣伝代行、ウェブサイトや販促ツールの制作など、様々な方法で日本とイギリスの架け橋となる活動を行っています。

1987 ロンドンにて出版社として創立

在英日本人コミュニティとビジネス向けに、イギリスの生活情報や在英日本企業・サービスを紹介する年刊情報誌「Red Directory」を創刊

1998 ロンドンでの日本食ブームに先駆け、日本食関連の書籍出版を開始

2001 日本食普及事業「Eat-Japan」開始

英語季刊誌「Eat-Japan Magazine」、食品関連業界向け年刊ムック「Eat-Japan Trade Directory」創刊

2005 創作すしコンペティション「Sushi Awards」開始

全世界からプロのすし職人を募り、世界一の創作すしを決定する世界大会としてスタート

2010 日本総合文化イベント「HYPER JAPAN」開始

2010 東京観光レップ開始

2012 Sake Experience / Sake Awards 開始

2018 Japan Food Show 開始

2024 TOPPANグループの連結子会社化

CROSS MEDIA

Cross Media Limited

Unit G18 The Light Box, 111 Power Road,

Chiswick, London W4 5PY UK

+44-(0)20-8963-9903

代表：佐藤 圭樹

マーケティング

- 市場調査
- ブランディング
- メディアバイイング
- デジタルマーケティング

プロモーション

- イベントセミナー
- メディアブリーフィング
- キャンペーン
- リリース配信

英国・ヨーロッパでの豊富な知識と経験、多方面に渡る現地リレーションを生かし、ロンドンを拠点に活動する日系企業です。

制作クリエイティブ

- 広告・ポスター・販促物
- イベントブース装飾
- 撮影・翻訳・ローカライズ
- 書籍・雑誌・ウェブサイト
の編集制作

イベント主催

- HYPER JAPAN主催
- イベント設営・企画・運営
- 出展・出演・講演サポート
- 物品販売・ケータリング

これからの展開、さらなる展開に英国を

欧州の中でも日本への興味関心が高い英国は、欧州展開の最初の地としても適しており
これから海外へ広げていく初手としても、米国・アジアに次ぐマーケットとしても注目！

POINT 1

日本への興味関心が高く、訪日・消費共に盛んな国！

- ❖ 出訪日外客数の推移で英国からの訪問は欧州圏内最多の44万人
- ❖ 訪日観光客のリピート率が高く欧州トップの42.1%がリピーター
- ❖ 一般訪日旅行者1人あたりの旅行支出額は世界トップの約38.3万円

POINT 2

ポップカルチャーと日本の歴史文化のどちらにも興味あり！

- ❖ 英国人の日本が好きな理由は、「歴史文化」(23.6%)、次いで「日本食」(21.9%)、「四季の風景/自然」(20.9%)と、アニメ(7.1%)より上位になった調査も。
- ❖ コンテンツ消費意欲も高く、1人あたりの年間コンテンツ消費額はアメリカ、日本に次ぐ3位

POINT 3

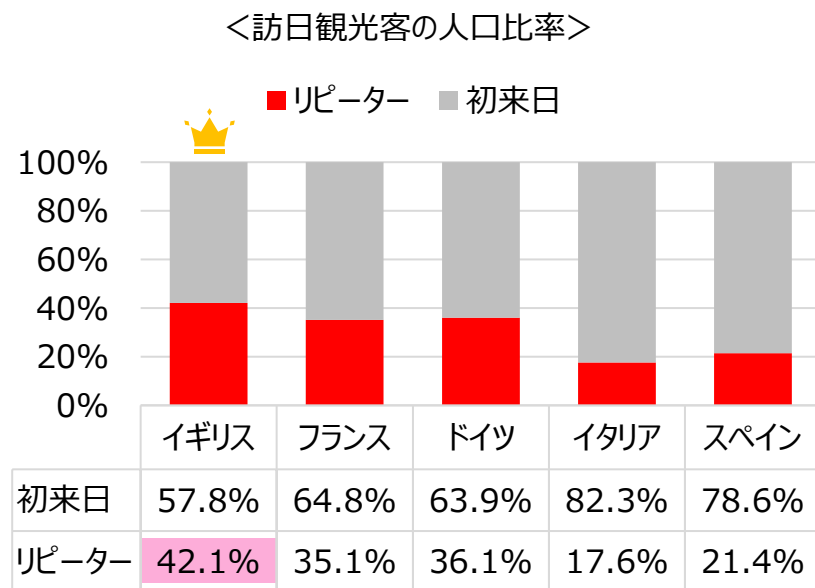
話者・教育を受けた人が多く、海外展開に使用しやすい言語

- ❖ 英語はイギリスだけでなく、アメリカ合衆国・カナダ・オーストラリア・インド・ニュージーランドで使用されており、15億3,100万人の話者がいる言語。
 - ❖ 全世界各地の主要国でも活用されており影響力が最も高い言語。
- 海外展開のための最初の言語にふさわしく、米国向けに作成したツールはそのまま活用可能

日本への興味関心が高く、訪日・消費共に盛んな国！

英国は訪日観光客のリピート率とインバウンド消費額が欧州トップ。
「英国の日本好き」は潜在顧客として高いポテンシャルが見込めます。

欧州で最も訪日観光客が多くリピート率も高い



出展：訪日ラボ「国別訪日データ(2023年第3四半期)」より作成

出訪日外客数の推移をみると2024年は過去最高の3,687万人を記録。

英国はうち44万人で欧州圏内では最多。

(日本政府観光局(JNTO)2023年「訪日外客数(総数)」)

インバウンド消費額が国別 No.1 (2024年)

順位	国/地域	金額(円)	2023年比	2019年比	平均泊数
1	イギリス	382,829	+16.9%	+58.7%	13.2
2	オーストラリア	382,311	+12.2%	+54.2%	13.8
3	スペイン	370,714	+10.3%	+67.5%	14.0
4	フランス	361,321	+9.7%	+52.2%	16.8
5	イタリア	356,521	+6.6%	+78.8%	13.2
6	アメリカ	332,346	+12.0%	+75.5%	12.1
7	ドイツ	332,327	+10.1%	+64.9%	16.3
8	ロシア	325,538	+25.8%	+77.9%	15.4
9	カナダ	305,857	+10.2%	+68.2%	12.2
10	シンガポール	291,572	+0.6%	+67.9%	8.9
11	中国	277,747	-13.2%	+30.5%	9.3
12	香港	248,011	+9.1%	+59.0%	6.8
全国籍・地域		227,242	+6.8%	+43.3%	9.0

訪日外国人1人当たりの旅行支出を見てもイギリスが1位。

渡航費も含むものの5年前に比べて1.5倍超となっているなど消費の旺盛さが見て取れる。

出展：観光庁「2024年訪日外国人1人当たり旅行支出」

興味関心と消費意欲で見る英国

他国に比べて、日本の歴史・文化に関する関心が高い傾向が見られるとともに、コンテンツへの消費意欲も高いため、適切なPRで需要を喚起したいエリア。

日本が好きな理由が多様

世界12カ国を対象に「日本が好きな理由」についてのアンケート調査において、イギリス人では「歴史文化」の項目が最も高く23.6%、次いで日本食21.9%、四季の風景/自然20.9%となった。

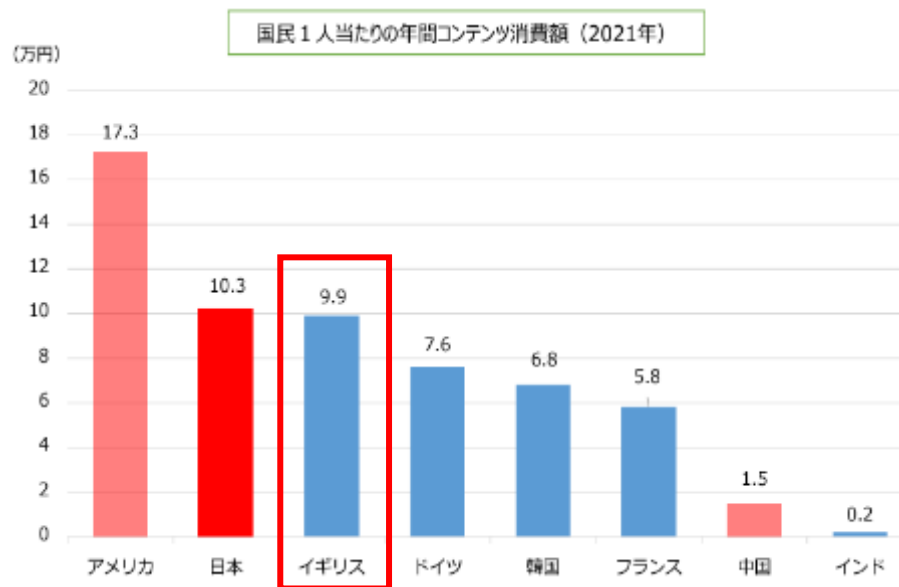
	マレーシア	インド	インドネシア	アメリカ	イギリス	オーストラリア
(1)四季の風景/自然	21.9%	20.2%	20.8%	15.1%	20.9%	20.1%
(2)日本食	19.5%	13.4%	16.0%	23.9%	21.9%	22.5%
(3)治安が良い	14.5%	16.6%	10.3%	8.5%	10.8%	15.4%
(4)商品の質が高い	16.9%	21.9%	19.6%	17.4%	14.1%	15.0%
(5)歴史/文化	13.7%	16.6%	15.4%	20.7%	23.6%	22.5%
(6)漫画/アニメ	12.9%	10.1%	15.7%	13.4%	7.1%	3.8%
(7)その他（具体的に）	0.5%	1.2%	2.1%	1.0%	1.7%	0.7%

	香港	台湾	中国	韓国	タイ	ベトナム
(1)四季の風景/自然	20.7%	21.0%	22.7%	16.8%	22.1%	20.2%
(2)日本食	23.0%	22.3%	23.1%	26.8%	22.4%	20.7%
(3)治安が良い	13.4%	13.0%	8.8%	11.6%	12.2%	7.3%
(4)商品の質が高い	16.8%	17.5%	18.7%	15.3%	16.0%	18.0%
(5)歴史/文化	13.1%	13.5%	12.4%	10.0%	14.4%	17.0%
(6)漫画/アニメ	12.8%	11.4%	14.3%	18.9%	12.4%	16.5%
(7)その他（具体的に）	0.3%	1.3%	0.0%	0.5%	0.6%	0.2%

出所:AUNコンサルティング株式会社 世界12カ国の親日度調査より

コンテンツ消費意欲は世界3位

1人あたりの年間コンテンツ消費額はアメリカ、日本に次ぐ3位と高く、日本コンテンツの消費が見えないのは供給不足によるところが大きな要因と推察。



参考) クールジャパン戦略関連基礎資料ver1.0 2023年12月22日内閣府知的財産戦略推進事務局

話者・教育を受けた人が多く、海外展開に使用しやすい言語

公用語として採用されているだけでなく、英語教育による英語話者も多く影響力が高い言語であり、今後の海外展開のために最初の翻訳言語として選択に間違いのない言語。
また、すでに米国向けに展開している際には、そのままツールなどが活用できる利点もあります。

世界の言語ランキング No.1

以下は公用語としている地域より推定の概算数字である。人口の多い中国や今後の伸びが考えられるインドも注視したいが、英語は多くの国で教育を推進しているため、英語話者数はそれ以上いると考えられる。

1位. 英語 15億3,100万人

イギリス・アメリカ合衆国・カナダ・オーストラリア・インド・ニュージーランドなど

2位. 中国語 14億7,700万人

中華人民共和国（中国本土/香港/マカオ）・台湾・シンガポール
※互いに意思疎通が困難な地域言語を除く

3位. スペイン語 5億1,600万人

スペイン・アルゼンチン・チリ・メキシコなど。ラテンアメリカ地域の国際共通語

4位. アラビア語 4億4,700万人

エジプト・イラク・イスラエル・モロッコ・サウジアラビア・アラブ首長国連邦など

5位. フランス語 4億3,100万人

フランス、アフリカの国々、スイス、ベルギー、ルクセンブルク、カナダなど

6位. ヒンディー語 4億2,000万人

インド・フィジー ※インドの憲法に定められた公用語

影響のある言語ランキング No.1

話者人口以外に、地理・経済・コミュニケーション・知識/メディア・外交の5つのポイントからランキング化したデータをみても英語は1位。G7のアメリカ・イギリス・カナダの3か国が公用語としていることや、世界中の最も多くの国で話されている言語であり、第二言語とする人が最も多い言語とされ、**全ての項目で1位**を取っている。

ランク	スコア	言語	母語話者	地理	経済	コミュ	知識	外交
1	0.889	英語 	446万人	1	1	1	1	1
2	0.411	中国語	960万人	6	2	2	3	6
3	0.337	フランス語	80万人	2	6	5	5	1
4	0.329	スペイン語	470万人	3	5	3	7	3
5	0.273	アラビア語	295万人	4	9	6	18	4

参考：世界で影響力のある言語ランキング - "POWER LANGUAGE INDEX" (2016)

クロスメディア社 事業概要

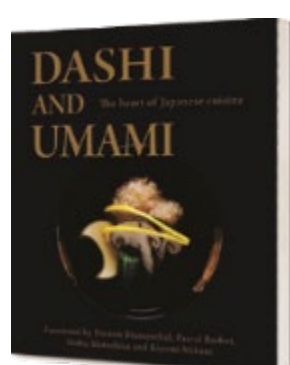
マーケティング

ブランド力向上、誘客・誘致、販売促進などニーズに適した現地手法/戦略を提案。各種広告媒体の選択、効果測定を行う。HYPER JAPANの日本文化ファンやSNSネットワークを活用したオンラインリサーチも可能。



制作クリエイティブ

紙媒体(書籍、パンフレット、ポスター、販促ツール等)のデザイン・制作から展示、映像、オンライン等の制作まで。翻訳、ローカライズ、スタイリング、撮影まで一貫した現地対応。



プロモーション

イベント・展示会やセミナーの運営、メディアブリーフィング、ソーシャルメディアを活用したオンラインキャンペーンやリリースの配信等。HYPER JAPANの持つ10万人超の日本文化ファンのSNSネットワーク活用も。



イベント主催

イギリス最大の日本文化総合イベント「HYPER JAPAN」を主催。食・音楽・ファッション・テクノロジー・観光・伝統文化・ゲーム・漫画・アニメなど多様な面から日本の「今」を紹介。



●HYPER JAPAN (2010～)

日本の漫画やアニメ・音楽・ファッション・食・伝統文化・ゲーム・テクノロジーなど、多様な面から日本の「今」を紹介。

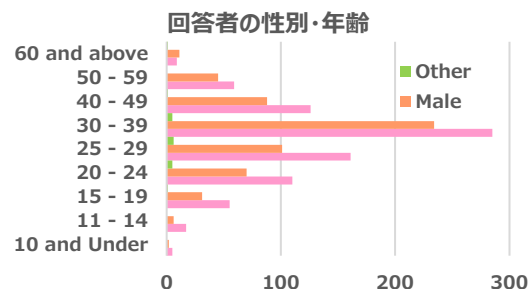
2015年には夏冬開催で合計13万人が来場。日本文化に特化したイベントとしてはイギリス最大。会場内では、官庁・企業出展、個人ブース、ステージ、ワークショップ、セミナー等、盛り沢山の企画を満載。



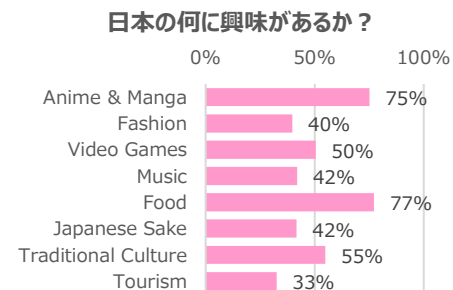
参考：HYPER JAPAN 2024 開催実績



会場：Olympia Events London
会期：2024年7月19日（金）～21日（日）
来場者数：32,000人（前年比+10,000人）
出展者数：374社（前年比+74社）
満足度：97%
平均消費額：£115.0(約22,000円)
SNSフォロワー数：11万人
メディア取材：120媒体



女性比率がやや多く、
30代の来場者が最多



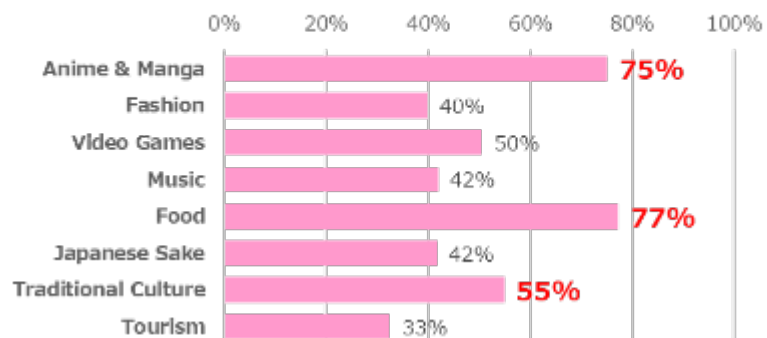
「食」「マンガ・アニメ」への
関心が高く、来場者の
75%以上が関心。

参考：HYPER JAPAN 2024 アンケートより

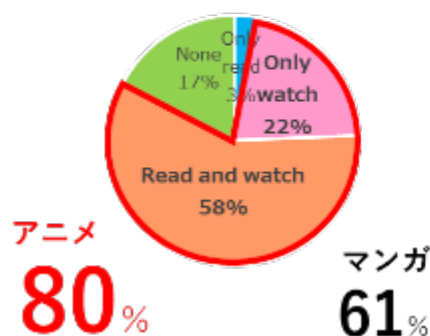
HYPER JAPAN来場者の興味関心

日本食、アニメ&マンガ、伝統文化への興味が深い。きっかけではアニメが47%、80%がアニメを視聴とコロナ禍のOTTによるアニメ浸透が見れる。訪日経験は41%、目的は日本食、買い物、歴史・文化体験が高いが、ポップカルチャーや聖地巡礼も選択肢になっている。

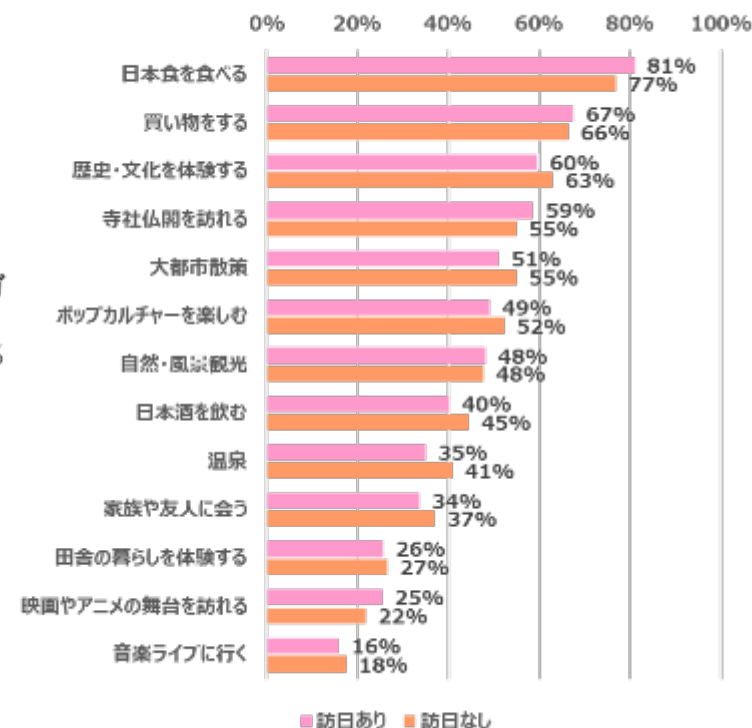
日本の何に興味があるか？



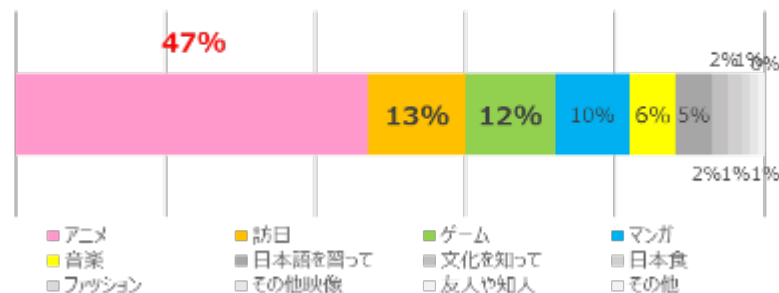
アニメかマンガか？



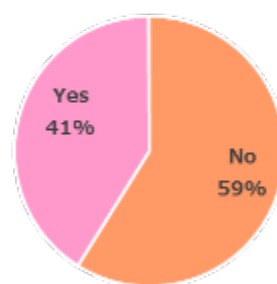
訪日の目的



日本を好きになったきっかけ



訪日経験



参考：HYPER JAPAN 出展実績 ※2010～



主な出展・参加社

全農	British Airways	ニンテンドー
エスビー食品	日本航空	バンダイナムコ
銀だこ	全日空	東映アニメーション
源吉兆庵	INSIDE JAPAN TOURS	スクエアエニックス
ヤクルト	JTB	コナミ
キッコーマン	スズキ自動車	ポケモン
ミツカン	NHK World	サンリオ
麒麟ビール	電通	アミューズ
サッポロビール	講談社インターナショナル	日本メディア芸術祭
アサヒビール	DNP	女子美大

地方自治体・行政機関

東京観光財団
国際交流基金（Japan Foundation）
財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
日本政府観光局（JNTO）
日本国際貿易振興機構（JETRO）
日本農林水産省
沖縄県
福岡市
静岡市
神奈川県

後援団体

在英国日本国大使館
国際交流基金（Japan Foundation）
財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
日本国際貿易振興機構（JETRO）
日本政府観光局（JNTO）
一般財団法人音楽産業・文化振興財団
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
一般社団法人日本動画協会
NPO法人映像産業振興機構

クロスメディア社 マーケティング・プロモーション

初音ミク（アミューズ・ランティス）

初音ミク欧州初ツアー「HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE」のロンドンにおける公演プロモーションを手掛ける。会場や現地業者の選定、業者との連絡調整、チケット販売、広告宣伝、旅行手配、物販管理など、コンサート開催に向けた準備と当日の運営を一貫して務める。



英国・ロンドンスーパーマーケット等における日本酒の広報業務（国税庁）

2023年7月～2024年2月、一般消費者への日本酒の認知度向上を目的に、英国・ロンドンのスーパーマーケット、リカーショップ、ショッピングモール、百貨店等、合計15箇所にて店頭試飲イベントを実施。さらに、女性杜氏と女性ワイン醸造家を招き、日英のアルコール業界における女性の活躍をテーマにしたパネルディスカッションを政府関係者とメディア向けに実施。



ARIGATO in London（東京都・アサヒビール・セガサミー・パイオニア他）

世界各国の震災復興への協力に対し「ARIGATO」のメッセージを発信し、日本を改めてプロモーションすることを目的としたイベント。日系企業と東京都の共催でロンドンオリンピック会期中の2週間、観光名所「ロンドン・アイ」脇の一等地で開催。輪投げ、ヨーヨー釣り、和太鼓演奏といった夏祭りのアトラクション、ゲームやテクノロジー体験、日本酒の試飲などを実施。



Taste Japan（農林水産省）

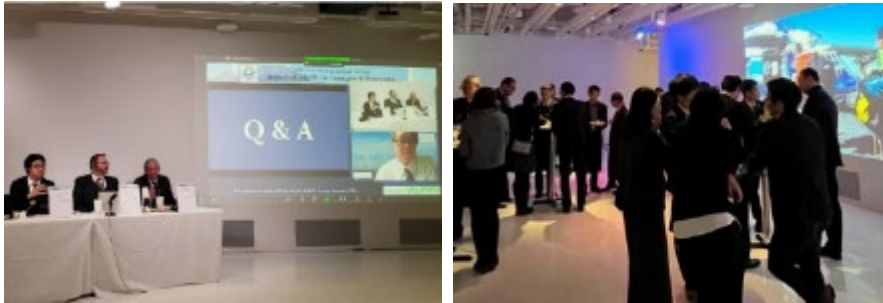
「パーティ向け／ピクニック向け日本食」「ヘルシーなしらたきパスタメニュー」などのテーマでデモンストレーションと試食を実施。自宅で作れる日本酒カクテルの紹介や、焼酎・日本産ワイン・ウイスキー・梅酒の試飲、日本酒を活用したレシピの配布も行う。ロンドンの地下鉄構内100か所に広告展開して集客、紹介した食材や酒はその場で販売、レシピは後日店舗でも配布するなど、大規模で長期的な露出を図る。



クロスメディア社 マーケティング・プロモーション

日海防ロンドン国際セミナー（日本海難防止協会ロンドン事務所）

日本海難防止協会ロンドン事務所主催のイベント開催に伴う運営を担当。会場手配、ハイブリッドセミナーに係る現地パートナー企業との調整、現地・オンライン参加者の募集・管理、装飾、パンフレット制作、ネットワーキングイベント手配など、イベント全般に関わる運営責任会社として従事。第1 回目につき第2 回目の運営サポートも弊社にて担当。



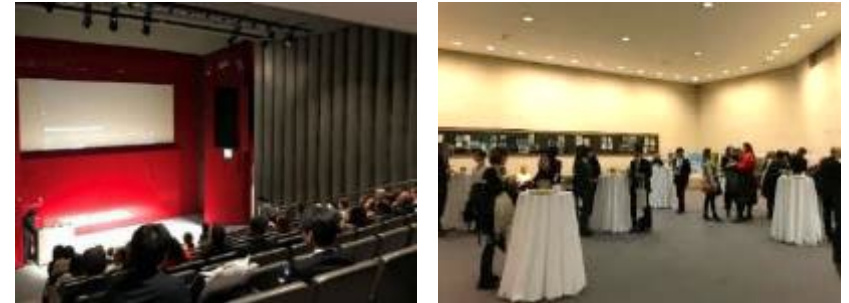
ロンドンうま味サミット（味の素）

うま味の発見から100年を記念して出版された書籍「DASHI and UMAMI」の発売に合わせ、イギリスにおけるうま味の認知向上を目的にイベントを実施。著名なシェフや料理業界関係者、フードジャーナリストなど、業界のインフルエンサーが日本人シェフとともにデモンストレーションや試食に参加した。このイベントは「タイムズ」紙やレストラン業界誌「ザ・レストラン・マガジン」など、英国メディアにおいても大きく取り上げられた。



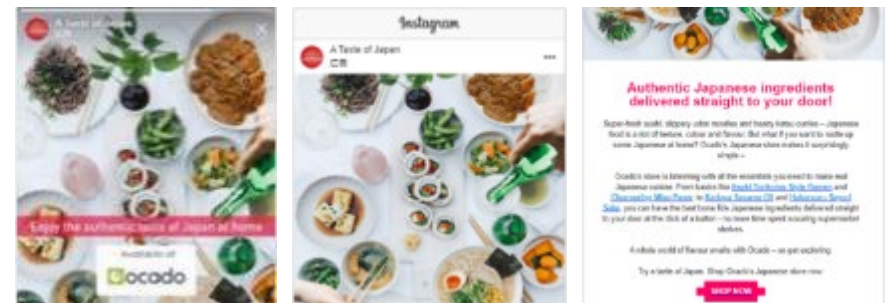
関西地区セミナー（関西国際空港）

関西の観光振興を目的とした旅行業界セミナーを、プリティッシュエアウェイズおよび関西国際空港と共同で開催。関西広域連合、関西観光局、奈良県、近畿運輸局の講演の元、オープニングイベントを大英博物館で実施した。会場の手配から招待、プレゼンまで、あらゆるサポートを務めた。



オンラインプロモーション（JETRO）

オンラインショップ「オカド」が持つ日本食専門ページへの訪問者の増加させるため、「オカド」と連携してプロモーションを実施。FacebookとInstagramにおいて広告を配信し、マーケティングから訴求力のある広告デザイン、キャンペーン後の計測および分析まで行う。また、フードマガジン「olive」のウェブサイトへも広告を掲載したほか、日本食専門ページに誘導するための紙媒体でのニュースレター及びソーシャルメディアでの広告も配信した。



クロスメディア社 イベント出展支援

Brand Licensing Europe

Brand Licensing Europe (BLE) は、ライセンスとブランド拡張に特化した唯一の汎ヨーロッパ イベントであり、小売業者、ライセンシー、メーカーが 3 日間にわたって一堂に会し、取引の成立、ネットワーキング、トレンドの発見を行います。2024年9月24日～26日のイベントには、Cross Media(HYPER JAPAN)として参加。



British Educational Training and Technology Show

BettまたはThe Bett Show (旧称British Educational Training and Technology Show) は、教育における情報技術をマーケティングする世界的な教育ショー シリーズです。この主力ショーは英国で開催されます。



The London Book Fair

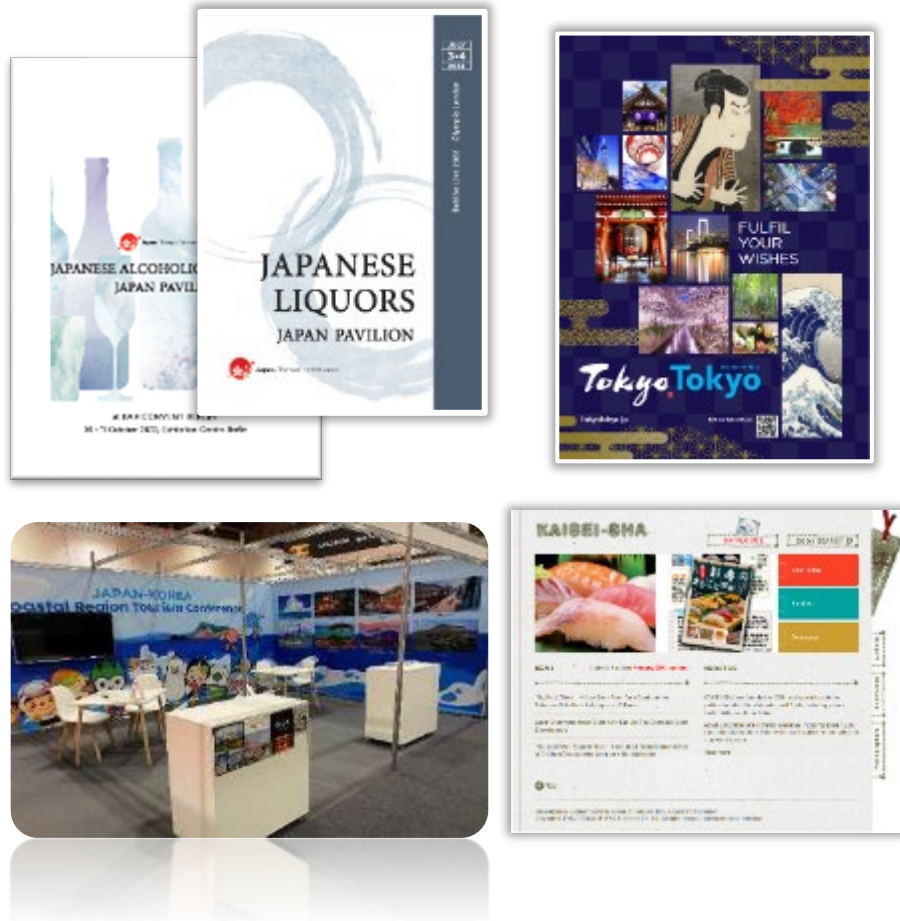
The London Book Fairは、イギリスのロンドンで開催される、世界3大ブックフェアの一つです。LBFは、権利交渉と、印刷、オーディオ、テレビ、映画、デジタルの各チャネルにわたるコンテンツの販売と配信のためのグローバルマーケットプレイスです。



クロスメディア社 制作クリエイティブ

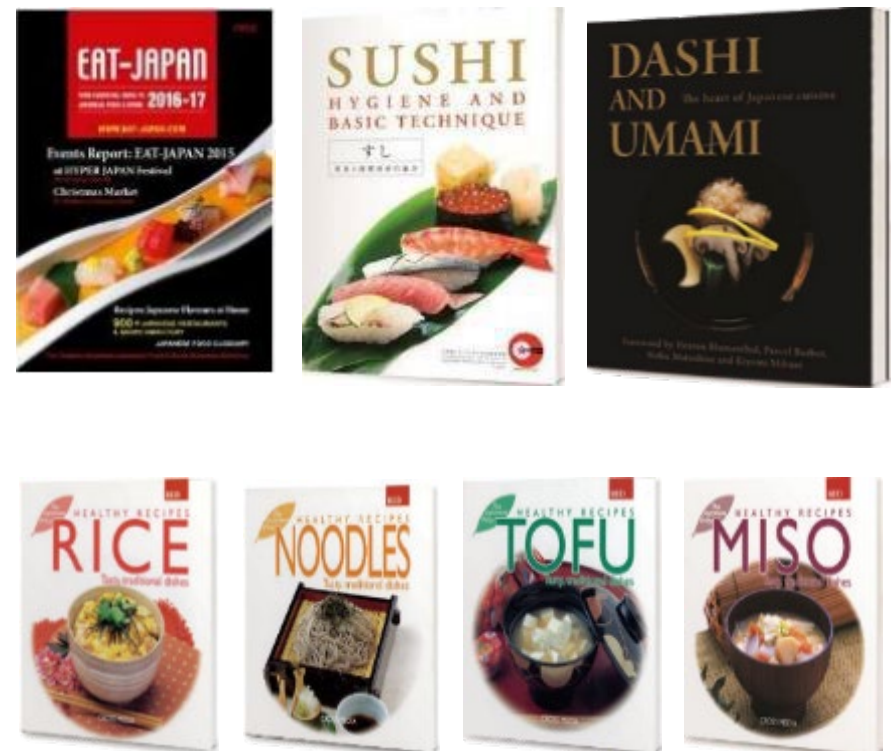
デザイン・制作

広告やポスター、キャンペーンツールのデザインはもちろん、イベントにおける出展ブースや装飾品のデザイン、撮影、スタイリング、翻訳、ローカライズ、ウェブサイト運営まで、平面・立体を問わず制作。現地目線を取り入れ訴求力の高いコンテンツを提供。



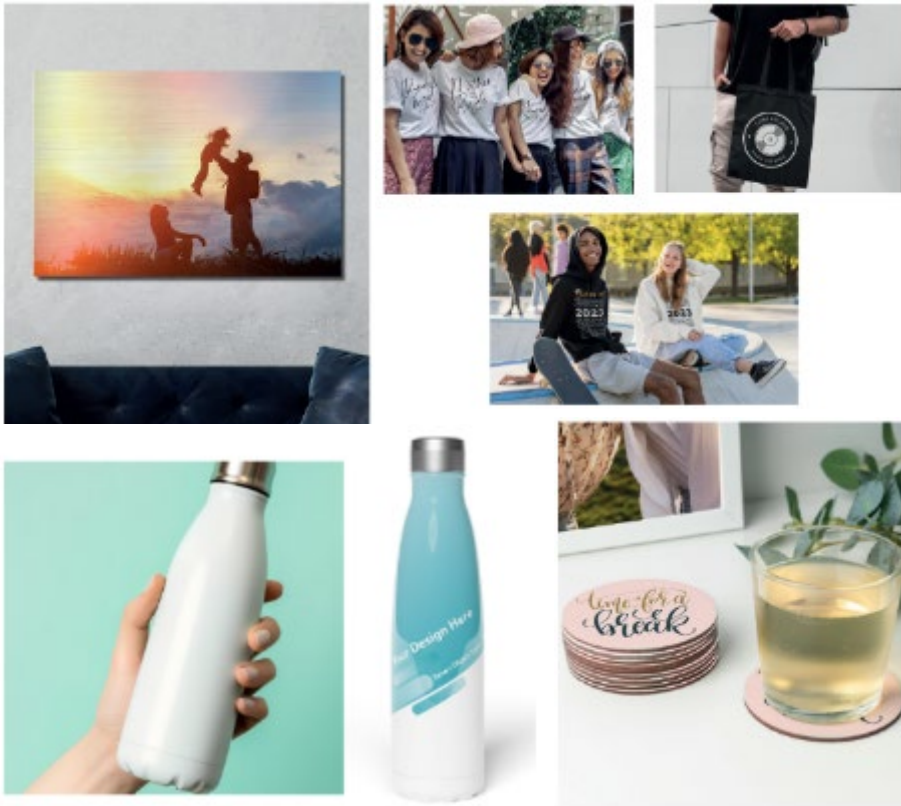
書籍・出版

プロのシェフに向けて「だし」と「うま味」を解説した書籍「DASHI AND UMAMI」、イギリス全土に渡る日本食レストランやレシピなどを紹介する現地一般消費者向けのフリーマガジン「EAT-JAPAN」など、多数の英文書籍・雑誌を制作・出版。



現地プロダクト製造

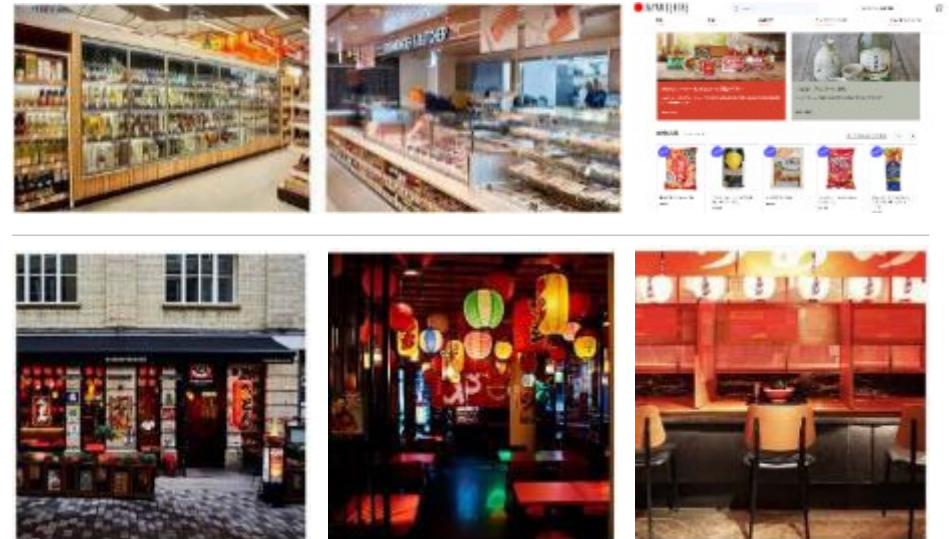
現地の製造パートナーを活用し、イベントで配布するノベルティ・パンフレットの様な販促物から、アパレル・ウォーターボトルなど現地のユーザーニーズに合わせた販売製品まで現地製造・現地納品が可能です。



リテールパートナー

英国ロンドンで日本製品の販売、卸を展開するジャパンセンターグループとパートナーシップを提携し、リアルチャネルでの製品販売、催事企画等の実施をサポート致します。グループで展開するラーメン横丁をはじめとする飲食店とのコラボ企画もご提案可能です。

JAPAN CENTRE
Ichiba





HYPER JAPAN FESTIVAL

18-19-20 JULY 2025, OLYMPIA EVENTS

日程

2025 年 7 月 18 日 (金) , 19 日 (土) , 20 日 (日)

会場

OLYMPIA EVENT

1886 年に建築された、ロンドン中心部に位置する展示会場。ファッションブルなショッピング街・ケンジントンハイストリートの西側に位置し、2012年のロンドンオリンピックにも利用された名高い会場。

住所 : Hammersmith Rd, London W14 8UX

ウェブサイト : <http://olympia.london/>



すべてを突破する。
TOPPA!!!
TOPPAN